



横浜市内議員（鶴見区）

柏原すぐるのNewspaper #26

市長が辞職。選挙は鶴見の暮らしとどう関係あるのか。



鶴見区内8エリアでミニ集会を開催しました。
ご参加ありがとうございました



横浜市長宛に要望書を提出

予算審査の様子

横浜市長の任期は本来4年間です。しかし、第三者調査で多数のパワーハラスメントが認定されたことを受け、市長が任期途中で辞職しました。そのため、10月4日告示、10月18日投開票の日程で、新しい市長を選ぶことになりました。

市長は今回の退職金約930万円を受け取らないとのことですが、今回の第三者による調査に税金から約3,163万円の費用を要しています。被害を受けた職員等へのケアに加えて、異論が届き創意工夫が引き出される組織をどう取り戻すかが問われます。裏面では、鶴見からどう捉えるかを書きました。

【なぜ、いま市長選挙なのか】

1/15	1/16	1/28	7/30	8/13-14	9/7	10/4	10/18
人事部長 実名告発	実態調査等を求 める緊急要望	議会が事実究明を 求める決議	第三者調査報告 重大パワハラ認定	議会にて 市長が答弁	市長辞職	市長選挙 告示	投票・ 即日開票

そもそも市長って何する人？

市長の任期は4年。予算編成権や人事権があります。職員や教員は約4万6,000人おり、その組織のトップです。教育、子育て、福祉、道路、公園、市営バス、水道、防災、まちづくり等の行政サービスを担う責任者でもあります。

市長が提案した予算や条例を審議し、行政をチェックするのが横浜市会です。市長と市会議員は、どちらも市民の選挙で選ばれます。

費用は15億円以上？市長選挙を解説

主な数字を並べてみます。

- ・選挙費用・啓発費 15億3,600万円
- ・投票所 626か所
- ・選挙従事者 約1万2,700人
- ・選挙人名簿登録者 約313万人



2008年10月19日までに生まれた日本国民で、原則として横浜市に3か月以上住民登録があり、選挙人名簿に登録されている人が対象です。

前市長の辞職で終わらせない。 職員支援と組織の立て直しを要望



市長のパワハラ問題・辞職を受け、9月9日に会派として平原市長職務代理者に緊急要望書を提出しました。1月16日の緊急要望から一貫して、職員を守り、市政への信頼を取り戻すことを求めています。

今回は、声を上げられていない職員や退職済み職員も含めた相談・支援、心理的安全性の確保、組織の牽制機能の見直し、早期の条例化などを要望。新市長就任まで約2か月ある中、今の執行部でできることを直ちに進め、次の市政へ確実に引き継ぐよう求め、対応方針の書面回答も要請しました。

柏原すぐる プロフィール

横浜市内議員・鶴見区選出／2023年初当選

1985年広島生まれ。千葉大学工学部卒。民間企業で現場監督などを経験し、2013年から鶴見区寺谷在住。妻と子ども3人の5人家族。現在、会派政調会副会長、まちづくり委員会委員、未来のまちづくり推進特別委員会委員などを努めています。「将来世代にツケを回さない。暮らしの声を、まちの変化へ。」議員の率先行動として、毎月約13万円を被災地や公益団体等へ寄付し、寄付先をホームページで公開しています。



最新情報はこちら

柏原すぐる 公式HP



<https://suguru-kashiwabara.jp/>

柏原すぐる YouTube



https://www.youtube.com/channel/UC9P8B1_852w-m8B1-L3w

柏原すぐる X



<https://x.com/SuguruHem>

次の横浜市長に、 私は5つのことを求めたい。

もっと、住み続けたい
この街、横浜

今後の4年間は、これまで以上に市民の暮らしやまちの未来を左右する大切な期間です。だからこそ、次の横浜市長に求めたい5つのことがあります。私たちの暮らしの主役である市民のために、次の市長選で考えていきましょう。

未来を、ともに

1 人の力を引き出せる市長

市役所で働く職員一人ひとりの力を引き出し、現場の声に耳を傾ける市長を求めます。職員が誇りを持って働ける環境が、よりよい市民サービスにつながります。



2 決断を先送りしない市長

まちづくり、鉄道の踏切対策、公共施設の再編、交通政策など、難しい課題にも真正面から向き合い、先送りせずに決断できる市長を求めます。



3 市民に説明できる市長

どのような判断をし、なぜその決定をしたのか。市民に対して、分かりやすく丁寧に説明する責任を果たす市長を求めます。市政への信頼は、説明する姿勢から生まれます。



4 鶴見のことを、もっと鶴見で決める。

鶴見区のまちづくりや地域の課題は、できるだけ市民に身近なところで決められる仕組みを進めます。区役所や地域の声を大切にし、鶴見のことを鶴見で考え、決めていく市政を求めます。

5 改革で生み出し、次の世代へ投資する市長

行政のムダを見直し、DXの推進や民間の活力の活用、規制緩和などで新たな価値を生み出します。生み出した余力や財源を子どもたちの教育、子育て世代や働く世代の支援、まちづくりやインフラ整備へと投資し、次の世代に誇れる横浜をつくる市長を求めます。

みんなで
つくる!

柏原すぐるが取り組みたい13のこと 鶴見を、これからどう良くしていく?

あなたの声で、
もっと住みよい鶴見へ!

鶴見のことは
鶴見で決める

人がつながり
未来へつながる
まち・鶴見

- | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|---|--|
| 1 鶴見のビジョンを策定

まちの将来像を描き、暮らしやすく魅力ある鶴見をつくります。 | 2 鶴見区長の公募制

多様な人材を登用し、開かれた区政を実現します。 | 3 鶴見区の独自予算枠の拡大

地域の課題に素早く対応できる、区独自の予算を拡充します。 | 4 つるみ教育会議・教育行政連絡会議の設置

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びと成長を支えます。 | 5 鶴見区の区政会議の設置

区民の声を区政に反映し、ともにまちづくりを進めます。 | 6 緑化と街区公園整備で快適空間都市つるみ

緑と公園で、子どもから高齢者まで快適に過ごせるまちへ。 | 7 都市計画変更による適度な再開発の促進

地域の特性を生かし、暮らしやすくにぎわうまちをつくります。 |
| 8 鶴見区交通網の強化

鉄道・バス・自転車など移動しやすい、便利な鶴見を実現します。 | 9 鶴見区内の公民連携事業の推進

行政・企業・地域が連携し、新たなにぎわいや魅力を生み出します。 | 10 みんなの保育園・まち保育・居場所づくり

すべての子どもが安心して過ごせる居場所のあるまちへ。 | 11 スポーツ先進都市つるみ

スポーツで健康・つながり・にぎわいを育み、誰もが活躍できるまちへ。 | 12 鶴見区限定利用のふるさと納税の推進

鶴見を応援する想いを区のまちづくりに活かし、地域の力にします。 | 13 中学校給食の学校調理方式の推進

できたてで安全・安心な中学校給食を、子どもたちに届けます。 | |

一人ひとりの声が、鶴見の未来をつくる。

一緒に、より良い鶴見をつくりませんか?

For Tsurumi
For Tomorrow

市民の
みなさんへ

まず、『誰に投票するか』の前に。
あなたは、鶴見をどうしたいですか?

みんなの声が、
まちの未来をつくる。



鶴見駅前は
どうなしてほしい?



学校や教育は
どう変えてほしい?



地域の移動を
どう便利にする?



子育てしやすい
まちとは?



地域のことを
誰がどこで決める?



次の世代に
どんな鶴見を残す?

「こうなしてほしい」「ここを変えてほしい」。そこから考えていけば、市長選挙は少し身近になるのではないでしょうか。

「困った」をお知らせください

「危ない、困った」といったお声は議員へお知らせください。現地確認や行政への相談、要望、政策立案につなげています。

● 地域の方の声から改善した例



JRガード下の通路
自転車事故の心配



注意喚起の
看板を設置



今後の議会の予定

次回の予定は11月から第4回定例会が行われます。決算審査、補正予算などの審議を予定しています。



お問合せ

ご意見やご質問は随時受け付け中!
公式LINE登録後、「問い合わせ」
よりお気軽にご連絡ください。

